

日本ニュース

シネスコ版

道新 167 { 七カ/農いく-札幌-10/10
 高知新 1624 本編同 ✓
 新愛媛 1682
 甲口新 1682
 No. 4 1 9 36. 1. 26
 石川、選挙権 1233 - 日本共産党選挙権 - 670 { 本編トッパ追加
 外資の利権 1200 (本編トッパ追加)

一、皇太子ご夫妻親善の旅へ

三度目の海外親善訪問をされる皇太子ご夫妻、今度もお留守番する浩宮さまを寒い時だけにカゼが一番心配だと気をくばりながら、パキスタン等訪問する東南アジア三ヶ国を、出来るだけ理解していきたいと一月二十二日羽田をお発ちになりました。

一、江田書記長を三選

社会党大会

一月廿日から三日間、東京九段会館で第廿一回社会党大会が開かれました。今大会の焦点は江田三郎・佐々木更三の両氏による書記長の椅子争いです。
 江田さんは構造改革論は短期的戦術という執行部の多数決定もあるが、相当長期にわたる政治路線であり、それが「戦術」か「戦略」かはにわかに極め難い問題であると、微妙な発言をしました。一方、佐々木さんは構造改革論は実体的なものであり、社会主義の平和革命路線は他に求めねばならぬと主張しました。政策と理論を異にする両派の対立は分派斗争の様相を見せ、党内の各派を自派に引き入れる多数派工作に、選挙参謀は密策をねる有様です。
 最終日の廿二日、三日間の論議の総決算ともいふべき書記長選挙では、六十三票の差をもって江田氏が当選。「党の近代化」というキャッチフレーズが若い層の共感を呼び、江田三選の大きな原因となったようです。
 しかし、各派混成の執行部をかかえて、今後どのように構造改革路線を推進してゆくか。内外の注目が寄せられています。

アイモ風土記

一、移りゆく陸前漁村

宮城

日本三大漁場の一つといわれてきた三陸の沿岸漁場も、近頃ではさっぱり魚がとれなくなり、牡鹿半島一帯の漁村は、昔日の面影をとどめていません。
 沿岸漁業の行き詰りによって、次第に遠洋漁業への切り換えがすすめられ、漁業も大資本を必要とする大企業へ集約されてゆく一方、さびれた漁村の漁師たちは、漁夫として備われ、遠洋漁業へ出稼ぎに行きます。
 陸前海岸には、男たちが出稼ぎに行き、女だけの村がたくさんできています。田代島もその一つで消防団も女ばかり、辛抱強く夫の帰りをまつ女たちは、若妻会に集まり、共同して新しい生活設計をたてています。
 だが今年には正月を峠にして、十三年ぶりというイワシの大漁、しめて十億円という水揚げでイワシブームに湧きました。それも東の間。イワシが去ったあとの漁港は、ふたたび火が消えたよう。こうした漁業に見切りをつけ、石巻では漁港から工業港へ工場誘致へ活路を切り開こうとしています。
 今年の大漁を祈願する大曲の獅子舞も、心なしか限界に立つ沿岸漁民の淋しさを現わしているようです。

681

316

221

70